

人を、想う力。街を、想う力。



2026年1月29日

報道関係各位

三菱地所株式会社

男子ラグビーワールドカップ 2027 オーストラリア大会への協賛契約を締結 ～ラグビー日本代表オフィシャルスポンサーに続くラグビーへの支援～

三菱地所株式会社は、このほど、ワールドラグビーと「男子ラグビーワールドカップ 2027 オーストラリア大会」（2027年10月1日から11月13日まで）の協賛契約を締結し、オフィシャルサポーターに就くことを決定しました。

人を、想う力。街を、想う力。



三菱地所は、ラグビーワールドカップ 2019 日本大会に協賛して以降、ラグビー憲章に掲げられる5つのコアバリュー（品位・情熱・結束・規律・尊重）に深く共感し、2020年からラグビー日本代表のオフィシャルスポンサーを務めております。これら5つのコアバリューは、当社のコーポレートスローガンである「人を、想う力。街を、想う力。私たち三菱地所グループは、チャレンジを続けます。」と本質的に通じ合う考え方であり、本協賛は、お客様一人ひとりに真に求められる価値を創造し、魅力あるまちづくりに挑戦する企業理念を体現する取り組みです。

三菱地所は、本協賛を通じて、本大会の成功およびラグビーの普及・発展に努めてまいります。

■ワールドラグビー Chief Revenue Officer : Michel Poussau 氏のコメント

この度、三菱地所をラグビーワールドカップのオフィシャルサポーターとして再びお迎えできることを、大変嬉しく思います。ラグビーには地域社会に活力を与え、人と人を強く結びつける力があります。三菱地所はこのスポーツが持つ前向きな力に共感し、長年にわたりラグビーの支援を続けてこられました。

男子ラグビーワールドカップ 2027 オーストラリア大会は、大会史上、最も多様性に富み、社会に大きな影響を与える大会として、新しい歴史を刻むことが期待されています。大会史上最多のチームが参加する、世界が一つになるこの祭典を我々は共に見据えてまいります。

■三菱地所株式会社 執行役社長 中島 篤のコメント

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会以来、再び、本大会への本協賛が叶ったことを大変光栄に、そして嬉しく思います。わたしたちは、「まちづくりを通じた真に価値ある社会の実現」を基本使命としておりますが、ラグビーというスポーツが有する「品位・情熱・結束・規律・尊重」という価値に強く共感しております。三菱地所は、本大会を通じ、豊かな社会の実現に向けたチャレンジを続けてまいります。

■大会概要

大会名称：男子ラグビーワールドカップ 2027 オーストラリア大会
開催期間：2027年10月1日（金）～11月13日（土）
開催都市：アデレード（Adelaide）／ターンタンヤ（Tarrantanya）
 ブリスベン（Brisbane）／ミーアンジン（Meeanjin）
 メルボルン（Melbourne）／ナーラム（Narrm）
 ニューキャッスル（Newcastle）／アワバカール・ウオリミ（Awabakal-Worimi）
 パース（Perth）／ブーロー（Boorloo）
 シドニー（Sydney）／ワンガル&ガディガル（Wangal & Gadigal）
 タウンズビル（Townsville）／グラムビルバラ（Gurambilbarra）
※「都市名／先住民の呼称」の形式で併記

試合形式：52 試合

- ・プール戦 4 チーム×6 プール（プール内総当たり戦）… 36 試合
- ・決勝トーナメント… 16 試合

公式ホームページ：<https://www.rugbyworldcup.com/2027>

■男子ラグビーワールドカップ 2027 オーストラリア大会について

男子ラグビーワールドカップ 2027 は、世界最高峰のラグビーユニオンの大会であり、4年に一度、世界のトップチームが競い合います。

2027年10月1日から11月13日までの6週間にわたり、オーストラリア全土でラグビーの祭典が開催され、豊かな文化と伝統を祝うとともに、オーストラリア、オセアニア、そして世界のラグビー界にポジティブな影響をもたらす新たな時代の幕開けとなります。

出場チーム数が24ヶ国に拡大される今回の大会は、ラグビーをより身近で、時代に即した、誰もが参加しやすいスポーツへと進化させ、世界中のファン層と競技人口の拡大を目指します。男子ラグビーワールドカップ 2027 は、全世代にインスピレーションを与え、あらゆる壁を打ち破る大会となるでしょう。

なお、本大会によって得られるすべての収益は、ラグビー競技の発展のために再投資され、ワールドラグビーのグローバルな成長戦略、134の加盟協会、6つの地域連盟を支援するために活用されます。

■【ご参考】三菱地所によるラグビーの普及・発展に向けた取り組み

三菱地所はラグビーワールドカップ 2019 日本大会に協賛し、2020年からはラグビー日本代表のオフィシャルスポンサーとして、ラグビーの普及・発展およびラグビーを通じた魅力的なまちづくりにチャレンジすべく協賛活動を続けています。

【三菱地所関連施設でのパブリックビューイング】

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会以降、当社関連施設にて複数の国際試合で「三菱地所 presents ラグビー日本代表パブリックビューイング」と銘打った観戦イベントを実施しております。これまで東京都（丸の内ビルディング、丸の内オアゾ）、横浜市（MARK IS みなとみらい）、名古屋市（SLOW ART CENTER NAGOYA）、大阪市（グラングリーン大阪・ロートハートスクエアうめきた）にて開催しており、今後もラグビーの普及に向けて、多くの方に観戦体験を提供してまいります。



▲丸の内ビルディングでのパブリックビューイング



▲MARK IS みなとみらいでのパブリックビューイング

【丸の内 15 丁目 PROJECT.】

三菱地所が取り組んでいる「丸の内 15 丁目 PROJECT.」は、ラグビーの多様な魅力に着目し、アート、ビジネス、映画等の様々な切り口から、今までにない新たなラグビーの魅力を発信するプロジェクトです。本プロジェクトでは大人から子供まで幅広い方にラグビーを知り、好きになるきっかけとして様々なコンテンツを展開しています。2018 年 9 月に立ち上げ、現在 2 万人を超える会員（丸の内 15 丁目住民）の方にお楽しみいただいています。



Web サイト <https://marunouchi15.com/>

Facebook <https://www.facebook.com/marunouchi15/>

Instagram https://www.instagram.com/marunouchi_15/

X <https://x.com/marunouchi15>

【ONE TEAM 大作戦】

2023 年に実施した参加型のラグビー応援企画。“エールカー”に乗った『応援団長』が日本各地を巡り、GPS アートと呼ばれる手法を使って圧倒的なスケールで『ONETEAM』という 7 つの文字を描き、道中でラグビー日本代表を応援する声＝「エール」を集めるプロジェクトです。総走行距離 6,400 キロ、日本各地で出会った 13,000 を超える人たちから集まった熱い「エール」をラグビー日本代表に届けました。

参考リリース：https://www.mec.co.jp/news/detail/2023/05/31_mec230531_oneteamproject



【ONE TEAM CITY Marunouchi BASE】

2023 年 9 月から 10 月にかけて開設した、多様な方々がラグビーを通じてひとつになり、ラグビー日本代表の必勝を祈願できる発信拠点。ラグビー日本代表フォトブースの設置や歴代のユニフォームを展示したほか、「ONE TEAM 大作戦」で集めた 13,000 人を超えるファンの方々からのエールの展示、「ONE TEAM 大作戦」の軌跡をまとめた動画の上映などを実施しました。



参考リリース：https://www.mec.co.jp/news/detail/2023/09/08_mec230908_hantopen

【丸の内ラグビー神社】

丸の内ラグビー神社は、世界遺産である京都「下鴨神社」の境内にあり、ラグビーとゆかりの深い「雑太社（さわたしゃ）」の神様をお祀りし、ラグビー日本代表に応援の声（＝エール）を届ける丸の内の拠点の一つとして、男子ラグビーワールドカップが開催された2019年と2023年に設置しました（現在は移設・撤去済）。ラグビーボール型の鳥居、ラグビーボール型の鈴に加え、2023年には日本列島に“ONE TEAM”の7つの文字を描きながらエールを集めるキャラバン「ONETEAM大作戦」で全国を周った7つのラグビーボールが奉納され、丸の内ビルディング外構部に建立しました。お社の脇には絵馬掛けを設置し、ラグビーボール型の絵馬で全国のファンの想いを神社に集めました。

2023年の建立時には、丸の内仲通りで実施される「Marunouchi Street Park 2023 Summer」に併せ、ラグビー日本代表のジャージデザインが施されたブランコ「ONE TEAM SWING!」や、リーチマイケル選手、稲垣啓太選手などの手形が施されたアートベンチなども設置。期間中には「ONE TEAM 縁日」も開催され、ラグビーボールと同じ楕円型のスーパーボールすくいや、かき氷販売のほか、「リーチマイケルコーヒースタンド」も出店し、丸の内エリアを盛り上げました。

参考リリース：https://www.mec.co.jp/news/detail/2023/07/27_mec230728_marunouchishrine



【感謝パレード・壮行会】

2019年のラグビーワールドカップ日本大会では、史上初のベスト8進出を成し遂げた男子日本代表選手の感謝パレードが丸の内仲通りで実施され、三菱地所は特別協力の立場で携わりました。以降も国際試合に向けた壮行会が丸の内で開催されたほか、男女7人制ラグビー日本代表の応援ベースが設置されるなど、ラグビーを応援する企画を丸の内に誘致しております。

名称：ラグビー日本代表 ONE TEAM パレード ～たっくさんの BRAVE をありがとう～

時期：2019年12月11日(水)

主催：公益財団法人日本ラグビーフットボール協会

特別協賛：大正製薬株式会社 株式会社カンタベリーオブニュージーランドジャパン

特別協力：三菱地所株式会社

コース：丸の内仲通り（有楽町電気ビル前～丸ビル前）



【小学校へのラグビーボール寄贈】

ラグビーワールドカップ 2019 日本大会は日本全国 12 ヶ所で開催され、これを契機にラグビーがより地域に根付き、大会を通じて地域社会が発展することが望まれたことから、三菱地所は大会の機運醸成を図るだけでなく、社会貢献及び地域創生の一助となるべく、大会開催都市の小学校にラグビーボールを寄贈しました。本取り組みは 2023 年にも行なっており、同年寄贈したラグビーボールは合計 6,000 個となりました。

贈呈先：北海道札幌市、岩手県釜石市、埼玉県熊谷市、東京都、神奈川県横浜市、静岡県、愛知県、大阪府、兵庫県神戸市、福岡県、熊本県、大分県

以 上